

住民から喜びの声

上三坂築堤完成祝い見学会

施工2社と下館河川



新井土木の新井社長



高橋建設の高橋社長



神達常総市長



永岡衆議院議員

国土交通省下館河川事務所が「鬼怒川緊急対策

プロジェクト」の一環として整備を進めていた常総市の上三坂築堤工事が完成し、25日、同事務所の協力により、施工を担った新井土木(新井紀雄代表取締役)と高橋建設(高橋修一代表取締役)が完成工事見学会を開催した。地元住民など約100人が参加し、工事概要の説明や堤防上のウォーキングが行われ完成を祝った。



住民などに工事概要を説明した



ドローンを使い参加者全員で記念撮影

同工事では、関東・東北豪雨の際に堤防が決壊した区間の下流側約550mについて盛土による堤防かさ上げ、拡幅を行った。来賓を代表して神達岳志常総市長が「災害時には全国の方々にご支援いただいた。水害にあった常総市から防災に強い常総市に生まれ変わった姿を見せていくことが恩返しにつながる」とあいさつ。永岡桂子衆議院議員は「早期の完成を喜ばしく思う。この完成を機に

本当の復旧・復興に向かって大きく立ち上がっていただきたい」と祈願した。地元の秋森二郎上三坂地区長は「本格的な梅雨の前に完成したことをうれしく思う。これも下館河川事務所や施工業者、関係者の方々のおかげ」と感謝を述べた。

工事概要説明では、高橋建設の大槻峻氏が盛土によりかさ上げされた堤防工事の進捗状況を、新井土木の高槻到氏が施工のスピードアップにつながったICT技術の活用をそれぞれ説明した。

続いて堤防でのウォーキングが行われ、天端舗装が3mから6mに拡幅された延長550mの区間を往復し、完成を喜んだ。堤防上ではドローンでの集合写真も撮影。参加者からは地域の安全・安心が高まったことへの感謝の声が聞かれた。

同事務所の里村真吾所長は「地域の方々の協力により速やかに工事を進めることができました。ハード施策とともにマイ・タイムラインなどのソフト施策にも力を入れていく」と話した。